

人材バンク“魅学”プログラム例記入書

登録者名（団体名）

後藤 恵理子

プログラム名	私の命のしまい方 ～延命処置の選択について～		
プログラムのねらい	延命処置の有無に関する生前意思であるリビングウィルの書き方・しまい方についての啓蒙、主に埼玉県医師会が発行している『私の意思表示ノート』を活用。		
講座名・テーマ 学習分野等	学 習 内 容 等 (具 体 的 に)	時間数 (分・時間)	備 考 (備品等)
1、『救命処置と延命処置の違い』	●意外と知らない、『救命処置と延命処置の違い』について	5 分	『私の意思表示ノート』
			のパンフレット
2、実際の延命処置の内容と選ぶ時の注意点	●心臓が止まった時 ・心臓マッサージ ・昇圧剤や強心剤の投与		配布
	●呼吸が止まった時 ・気管内挿管 ・人工呼吸器		
	●口からご飯が食べられなくなった時 ・中心静脈栄養（点滴） ・経管栄養（経鼻・胃ろう）	15 分	
3、どうして今必要なのか	●判断能力がある時だからこそ作成しておく重要性 ●書面に残すことの重要性(実例) ●リビングウィルのメリット・デメリット	10 分	
4、書き方・しまい方のポイント	●書き方：自分の価値観の整理 ●しまい方：情報共有と分かりやすい場所での保管		
5. まとめ	●定期的に見直すこと・話し合う事	10 分	
	合計 40 分		